

## 新たな年を迎えて

日高農業改良普及センター 所長 宮町 良治



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな年をご家族と共に健やかに迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

また、日頃より普及センターの活動に際しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により、日高管内においても様々な業種に大きな影響が及びました。農業分野におきましても、品目によっては需要の減少や価格低迷に悩まされるなど、ご苦労の絶えない一年であったと思います。

さて、農耕期間の気象経過を振り返りますと、積雪量が少なかったことで春耕起作業が平年より早く順調に進みました。5、6月は好天に恵まれ日照時間が長かったものの、降水量が少なく乾燥した天候となりました。8月中旬以降も高温傾向で、特に9月中は例年になく残暑が続きました。5月から

10月までの静内アメダスポイントデータによると、積算気温は平年と比べ上回り(106%)、日照時間も多く(108%)、降水量は年間を通じて少なく経過しました(86%)。幸い大きな災害もなく作物全般においては、平年作からやや良好な結果を得ることが出来ました。

明るい話題としては、軽種馬産業において、サラブレッド競り市の年間売却総額が過去最高額を記録しました。また、ホッカイドウ競馬において、馬券発売額が道営競馬史上の最高額を更新しました。日本中央競馬界においても、日高管内の生産馬が大活躍し、全国ニュースでも数多く取り上げられ、馬産地「日高」の名前が広く伝えられました。

引き続き、コロナウイルスへの対応が見込まれる中、農業・農村を巡る情勢については厳しさが継続する場面が見込まれます。その一方で国産農・畜産物への見直しへの風潮が強まり、自然環境が豊かな北海道への追い風も期待されます。

農業者の皆様の果敢な取り組みと、日高地域の良さを生かした、次世代に繋がる農村・地域づくりのお手伝いを進めて参ります。本年が、皆様にとりましてご健勝で豊穡の年となりますようご祈念申し上げます、新年に当たってのご挨拶といたします。

## 新年を迎えて

J A しずない青年部 部長 福岡 駿 弥



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より当青年部の活動に際しまして、J A しずない役員並びに関係機関の皆様には深いご理解とご協力をいただいております。とに心より感謝を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な大流行により、あらゆる産業、地域に多大な影響を及ぼし、イベントや冠婚葬祭など様々な社会活動の延期、中止、自粛、規模縮小など、人々の生活が一変した1年でありました。

当青年部の事業におきましても新型コロナウイルス感染症拡大防

止の観点から町内の各小学校を対象とした食育出前授業、ハロウィンイベント等を中止と致しました。

このコロナ禍において私たち青年部が出来ることを考え、町内の各小学校、保育所への野菜の支援活動、ミニトマト紹介動画の作成、生産連ビルの周りをハロウィン用のかぼちゃで飾り付けし、ハロウィン当日の夜にライトアップする等の活動を行いました。

これらの活動を通じてコロナ禍で活動が制限された中でも出来ることはいくらかも出来たことを学ぶことが出来ました。

いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない厳しい状況ではありますが、今後も青年部一同協力し合い、より一層努力してまいりたいと考えております。

最後に、本年も組合員の皆様を始め、各関係機関の皆様にとつて良い1年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。